

# 広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]  
(平成25年6月解析分)

## 1 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成25年5月分(平成25年5月6日～平成25年6月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	306	0.67	0.62	↓	10	百日咳	3	0.01	0.18	
2	RSウイルス感染症	74	0.26	0.12	↗	11	ヘルパンギーナ	36	0.13	0.24	↑
3	咽頭結膜熱	272	0.94	0.63	↑	12	流行性耳下腺炎	131	0.45	0.68	↗
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	493	1.71	1.92	↗	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.02	
5	感染性胃腸炎	2,730	9.48	6.39	→	14	流行性角結膜炎	72	0.95	1.18	↗
6	水痘	344	1.19	1.68	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
7	手足口病	289	1.00	0.93	↑	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.03	
8	伝染性紅斑	9	0.03	0.30		17	マイコプラズマ肺炎	11	0.13	0.28	↘
9	突発性発しん	164	0.57	0.56	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成25年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	49	2.13	2.36	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	122	5.81	5.35	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	22	0.96	0.84	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	30	1.43	1.41	↗
21	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.65	↗	25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	0.05	—	
22	淋菌感染症	31	1.35	0.97	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.09	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

### 急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

●急増疾患 咽頭結膜熱(164件 → 272件)  
手足口病(150件 → 289件)  
ヘルパンギーナ(11件 → 36件)

●急減疾患 インフルエンザ(1,623件 → 306件)

### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象8疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	34	結核(34)〔西部保健所(9), 西部東保健所(5), 東部保健所(6), 広島市保健所(9), 呉市保健所(2), 福山市保健所(3)〕
三類	1	コレラ(1)〔広島市保健所〕
四類	10	A型肝炎(2)〔広島市保健所〕, レジオネラ症(4)〔西部保健所(1), 広島市(3)〕, 日本紅斑熱(2)〔呉市保健所(1), 東部保健所(1)〕, マラリア(1)〔西部東保健所〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所〕
五類全数	27	風しん(19)〔西部東保健所(6), 東部保健所(3), 広島市保健所(6), 呉市保健所(2), 福山市保健所(2)〕, アメーバー赤痢(3)〔西部保健所(1), 広島市保健所(2)〕, ウイルス性肝炎(3)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(2)〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所〕, 侵襲性髄膜炎菌感染症(1)〔広島市保健所〕

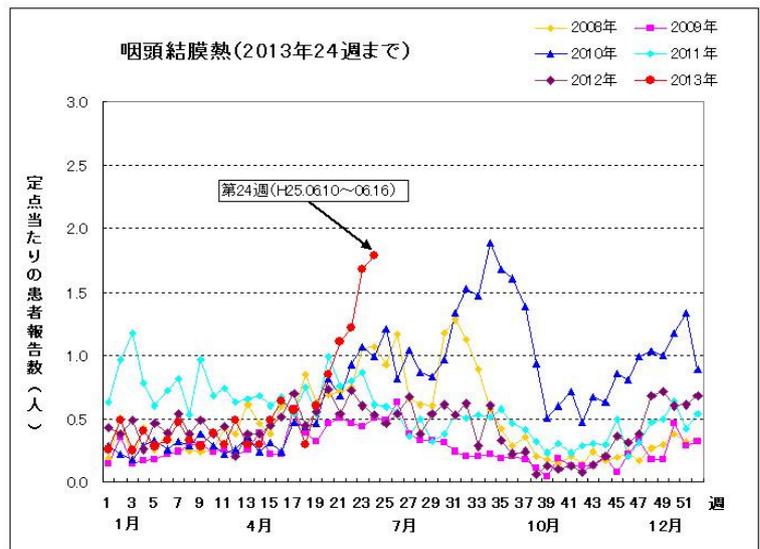
## 3 一般情報

### (1) 咽頭結膜熱警報の発令について

広島県感染症発生動向調査による定点医療機関(72医療機関)からの咽頭結膜熱患者数が、第21週(5月20日～5月26日)から増えはじめ、第23週(平成25年6月3日～6月9日)では、西部東保健所管内(竹原市, 東広島市, 豊田郡)及び北部保健所管内(三次市, 庄原市)で、警報発令基準値(定点当たり3)を超えました。

このため、今後、流行の拡大の可能性があることから、広島県の感染症発生動向調査警報・注意報要領に基づき、平成25年6月14日に「咽頭結膜熱警報」を発令しました。

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎(のどの痛み)、結膜炎が主な症状で、プールでの感染も多くみられることから、「プール熱」と呼ばれています。咽頭結膜熱の通常の感染経路は、飛沫感染又は手指を介した接触感染です。手洗い、うがいの励行など、感染予防に心がけましょう。



	保健所名	県保健所				広島市	呉市	福山市	県内計
		西部	西部東	東部	北部				
23週 (H25.06.3~06.09)	定点当たり患者数(人)	2.00	<b>4.67</b>	0.56	<b>3.50</b>	1.83	0.25	0.73	1.68
	報告患者数(人)	20	<b>28</b>	5	<b>14</b>	44	2	8	121
24週 (H25.06.10~06.16)	定点当たり患者数(人)	1.70	<b>5.00</b>	0.67	2.25	2.38	0.38	0.45	1.79
	報告患者数(人)	17	<b>30</b>	6	9	57	3	5	127

定点医療機関数(72): 西部保健所:10 西部東保健所:6 東部保健所:9 北部保健所:4  
広島市保健所:24 呉市保健所:8 福山市保健所:11

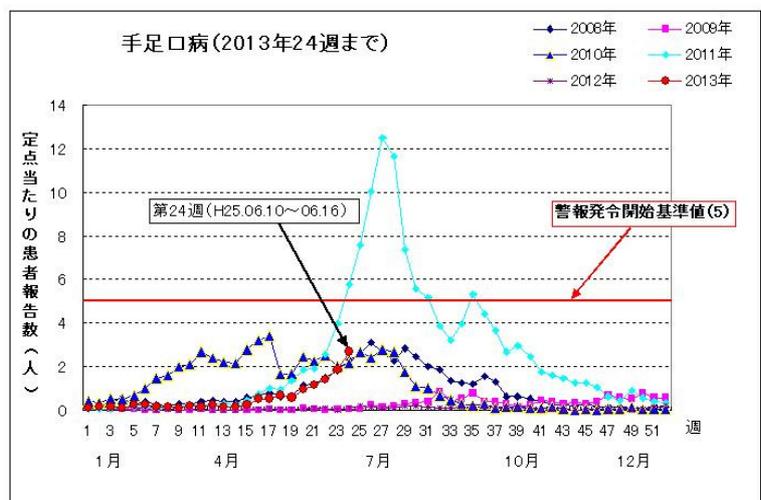
### (2) 手足口病の流行に注意しましょう！！

手足口病は、口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、乳児・幼児を中心に夏季に流行が見られます。

例年、6月から8月にかけて、定点医療機関からの患者報告数が多く、警報開始基準(定点当たり5)以上となる流行もみられることから、これから、特に注意が必要です。

今年度は、定点医療機関(72機関)からの患者報告数が、5月から増加傾向が見られ、第24週(平成25年6月10日から6月16日)に、県全体で192件(定点当たり2.70)と急増しています。

症状は、3～5日の潜伏期間において、口腔粘膜、手や足などの四肢末端に2～3mm水疱性発疹が現れます。稀に、髄膜炎、脳炎などの中枢神経系合併症を生じることが比較的多いので注意が必要です。



### (3) 感染性胃腸炎警報の解除について

広島県感染症発生動向調査による平成25年第23週(6月3日～6月9日)の定点医療機関から報告のあった感染性胃腸炎患者報告数が、県内すべての保健所管内で警報継続基準値(定点当たり12)未満となったため、平成24年12月6日に発令した「感染性胃腸炎警報」を平成25年6月14日に解除しました。